

2、目標達成計画

事業所名 グループホームどんぐり

作成日 令和 5年 1月 8日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	予測や見通しに基づく介護計画を作成し、随時変更できるケア内容を組み入れてモニタリングを容易にし、短期目標の見直しを容易にし、短期目標の見直しをきたいします。	個々の状況や状態変化に応じた短期目標の見直しを容易に行えるような支援課程を構築する。	・短期目標に対するケア内容に広い幅をもたせ、モニタリングを容易にし、短期目標の見直しを状態変化に応じて行う。	6ヶ月
2	37	予定している地域や自治会が参加した避難訓練の実施や、法人の自然災害や新型コロナウイルス感染症発生時の事業継続計画の策定で、地域密着型サービスのさらなる展開を期待します。	事業所が所属する自治会参加の避難訓練を実施する	・自治会組長、民生員、地域住民の協力を得た避難訓練計画を立て、実施する	6ヶ月
3	29	SACCHILレポートや日々の申し送りから、入居者の細かい気づきを職員間で共有し、介護計画に反映させているなかで、悪い徴候に対する予測や見通しは出やすいが、思いや暮らし方の希望、意向に関しての目標達成計画が限定されたものになっている。入居者の現状でのニーズを介護計画作成に反映できるような課題分析が必要と感じています。	把握し共有された入居者の思いや希望を実現するための介護計画を作成し、チームケアで取り組む	・SACCHIレポートや気づきをモニタリングやアセスメントシートに記入し、課題分析を通して介護計画を立てる	6ヶ月～1年
4	38	入居者との馴染みの関係の中で、馴れ馴れしい言葉遣いや配慮のない対応をしている場面が見られる事もある。人格の尊重やプライバシーの確保の意識を常に持ち職員間で問題提起できる環境が必要であると感じています。	職員一人ひとりが入居者に対して配慮のある対応や言葉遣いを意識することが出来る	・アセッサー評価に取り組み、統一した支援方法を行う。 ・接遇委員会を中心に言葉遣いや対応についてお互いに確認する場を持つ	3ヶ月～6カ月
5	2	キャラバンメイト活動や認知症カフェ、自治会の参加を通して地域の一員として交流の場を持っているがコロナ禍で中断している活動もあり、新入職員はそれらの活動を経験できずにいる。今後状況に合わせながらも、事業所としてすべての職員が地域の活動に参加し、関わりを持っていきたい。	新入職員を中心にすべての職員が地域との交流活動に参加し関わる事が出来る	・キャラバンメイト講座を受講しメイトとして活動に参加できる職員を増やす ・認知症カフェの運営に職員が関わっていく ・運営推進会議へ職員の参加を増やす	6ヶ月